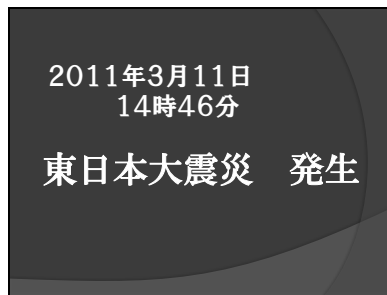


スライド 1



皆様本日はご参加いただきまして誠にありがとうございます。
私は入会4年目、会員開発委員会 会計幹事の松田治樹です。
職場は松田製作所という会社で金属加工の仕事をしております。
このような形で人に想いを伝える経験は初めてでお聞き苦しい部分も多々あると思いますが最後まで宜しくお願いします
それでは花巻青年会議所がこれまで行ってきた4つの事業についてご紹介させていただきます。

スライド 2



2011年3月11日
東北に暮らす私達には、一生忘れる事のできないことが起こりました。
東日本大震災です。

スライド 3



当時、花巻青年会議所の会員は71名。

いま出来る事から始めようと、電気がシャットアウトされ信号や街灯が点いていない花巻市内の交通整理と、夜間パトロールから動き出しました。

この活動が始まりとなり現在も続く「復興支援事業」がスタートしました。

スライド 4



沿岸地域の壊滅的状况を知り、少しでも助けられるよう全国各地にいる同じ思いを持って活動する青年会議所の仲間達から多くの連絡をもらい必要なものの手配など、たくさんの支援をしてもらいました。

スライド 5



そのなかで、花巻青年会議所では被害の多かった沿岸地域へ、人材派遣と救援物資の配送を行う事にしました。釜石青年会議所と連絡を取り、瓦礫撤去、被災者のへの聞き取り調査、支援物資の配布などボランティア団体とも協力しながら活動を行いました。

なかなか連絡がつかず全メンバーでの打合せも出来ない状況でしたが当時の理事長の指示を各

メンバーがしっかり伝え迅速に支援活動を行う事が出来たのも青年会議所の活動を通じて気づかぬうちに築き上げていた絆だったのかもしれない。

スライド 6



その後は花巻商工会議所青年部や花巻農協青年部など青年団体に協力して炊き出しや状況に応じた依頼へのサポートなど物的支援、人的支援を行ってきました。

スライド 7



そして2012年～昨年まで開催した「縁が繋がるスマイルキャンプ」は、花巻、遠野、釜石の3つの青年会議所が思いを一つにスクラムを組み「被災地に生きる子供たちの心の支援」を目的に開催し、

スライド 8



内陸と沿岸の子どもたちが交流
する中でたくさんの楽しい思い出
を創ることのできた事業になりま
した。

スライド 9



このキャンプを通して、「感謝の
心」「相手を思いやり、助け合う事
の大切さ」「未来への希望」を
個々に感じる事ができた事業とな
りました。

スライド
10



復興支援を行うなかで「絆」の大
切さを知った私達は、
昨年の6月15日(日)に「親子の
「KIZUNA」~ありがとうの気持ち
を感じる時間~」という事業を開催
しました。

スライド 11

花を楽しく
KIZUNA

近年の現状

- ・両親が多忙
- ・親子の時間が減少
- ・ネットやゲームの発達
- ・会話の減少

「絆」の衰退へ繋がる

この事業は、多忙な毎日を送っている大人が多く、親子が一緒に過ごす時間が少なくなっているのが現状であり、さらにインターネットやゲームも発達し、目を見て会話しなくても、情報が溢れ何でも出来る時代となってきました。であれば「絆」は衰退してしまうのではないか…

スライド
12

花を楽しく
KIZUNA

開催目的

親は子へ
「生まれてきてありがとう」
「元気でいてくれてありがとう」

子は親へ
「生んでくれてありがとう」
「毎日頑張ってくれてありがとう」

「KIZUNA」を深めてもらいたい！

そこで、コミュニケーションの原点“親子の時間“をクローズアップして、親は子へ「生まれてきてくれてありがとう。」「元気でいてくれてありがとう。」という気持ちを再確認し、子は親に「生んでくれてありがとう。」「私たちの為に毎日頑張ってくれてありがとう。」という気持ちを感じてもらい、「KIZUNA」を深めてもらいたいという目的で実施した事業です。

スライド
13



当日は26組の親子が参加して頂き、学び学園から童話村への6kmウォーキングを行いました。イベントやミッション等を設けず、純粋に親子の時間を大切に、会話や、いつもは車で通り過ぎてしまう風景を楽しみながらゴールを目指しました。

スライド
14



ゴール地点の童話村では、親子でBBQを行い、昼食後は初夏の心地よさを感じながらゴム飛行機作りを楽しんだり、

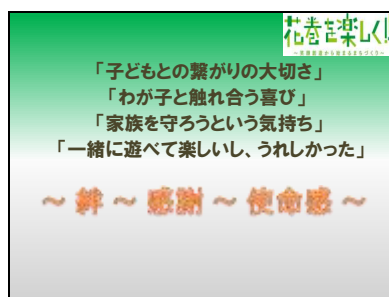
スライド
15



隣接する花巻市博物館で勾玉作りを体験したりと、コミュニケーションを取りながら親子の時間を感じていただきました。

青年会議所メンバーも、改めて家族が共に過ごす時間の大切さを感じるのと同時に、普段、仕事や青年会議所活動で家を空けている自分達を文句を言いながらも支えてくれている家族に感謝しなければと痛感させられた事業でした。

スライド
16



そして参加者の親の方からは、「子供との言葉のつながりの大切さや、わが子と触れ合う喜びを感じた。」「親子の心が繋がる重要性を感じた」「子供を守っていこうという気持ちがより一層強くなった。」との感想が聞こえ、子供からは「仕事で忙しいお母さんと、一緒にご飯を食べたり工作できてとても嬉しかった。」という感想もあり、何にも替え難い“笑顔”を見ることが出来ました。

スライド
17



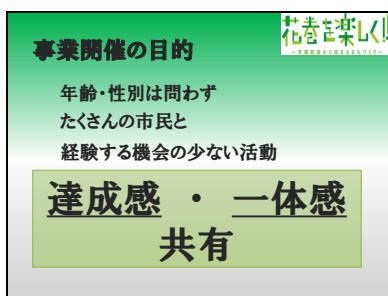
「絆」や「ありがとうの気持ち」だけではなく、親として、愛する子供を守っていこうとする使命感や、強く生きていこうとする子供の成長へも繋がる事業となりました。

スライド
18



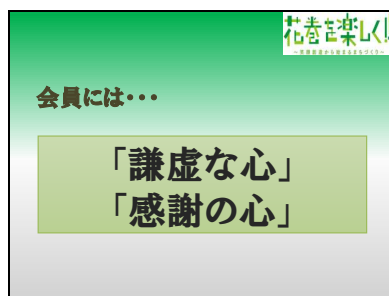
最後にご紹介する事業は昨年の10月26日に開催した、「美我こう！花巻！ ~心も身体もトイレも美しく~」という事業について、ご紹介させていただきます。どんな事業なのかはタイトルの通りトイレ掃除ですね(笑)

スライド
19



やる事はトイレ掃除ですが、この事業を開催する意義には年齢や性別を問わず多くの方に日常経験する事のない活動を体感して頂き、達成感や一体感を味わってもらいたい、そして参加者が個々の自信へと繋がる事業にしたいという思いで開催させていただきました。

スライド
20



そして青年会議所会員には、この活動に参加することで「謙虚な心」「感謝の心」を持つリーダーとして成長していこうという想いがありました。

スライド
21



事業当日はJAいわて花巻「営農指導拠点センター」をメイン会場として、花巻小学校・日居城野運動公園内さわやかトイレ数カ所を18班に分かれてトイレ掃除を行いました。

スライド
22



この事業の開催にあたり、当日までに、「岩手掃除に学ぶ会」の皆様にご協力頂き、会員は、計3回の研修を行いまして、参加意欲と事業成功への意識を高め、各班のリーダーの育成も行いました。

スライド

23



事業当日にはNPO法人日本を美しくする会の白鳥宏明氏にトイレ掃除を行う意義や思いやる心の尊さをご講演いただき、「掃除は人を変える力を持っている」「自分の力できれいにすると汚すことをやめて汚れに気付くようになる」そしてこの小さな変化が次第に大きな差になると力説し参加者へ伝えてもらいました。

スライド

24



事業終了後に書いていただいたアンケートの中には「トイレがどんどん綺麗になっていくことで達成感が味わえた」「初めて会う方と掃除することで仲間意識や一体感を味わうことが出来た」「これからも継続して自分のトイレを掃除していきたい」「子供のお手本となれるように自分から率先していきたい」などの感想があり、我々会員の想いが伝わった事業となりました。

スライド
25



青年会議所メンバーにとってもチームワークの重要性や、リーダーシップの大切さを再認識できた貴重な機会となりました。
普段、率先して行わない作業を多くの仲間と行うことで得られる新たな価値や大切な感情が生まれるという経験をさらに多くの市民の方々に伝えられるよう今後も事業の形は変わっても継続していかなければと感じた事業でした。

スライド
26



これまで私たちが、行ってきた事業の一部をご紹介しますが、私は、この4年間でこの他にもさまざまな経験をさせて頂きました。

花巻青年会議所の中だけではなく、青年会議所には岩手ブロック協議会、東北地区協議会、日本青年会議所、という、組織もあり、出向という形で、それぞれに出させていただいております。1年目には岩手ブロック協議会に出向し、入会間もない岩手県内の青年会議所メンバーと集まり、自分たちで事業を考え、作り上げる経験をしました。会議を重ねる中でメンバーの仲も深まり色々なことを語りあえるたくさんの仲間ができました。2年目には東北地区協議会に出向し、東北各地から集

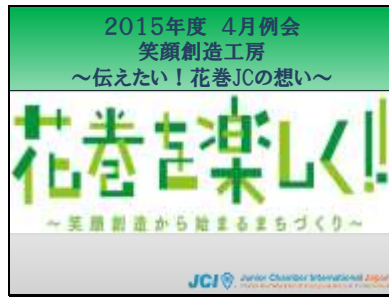
まったメンバーと活動させていただきました。その中では、何百人も集まるような中での司会をさせていただくというとても貴重な経験もでき、また、ここでもかけがえのない仲間ができました。

そして今年は、日本青年会議所に出向させていただいており、日本全国から集まったメンバーと、地方創生について学び、地域の未来を考え、活動しております。岩手県内から全国各地まで、実際には世界各地にまでいろいろなことを語り合える友達が青年会議所の会員というだけで、気軽にできてしまうのもこの会の魅力かと思えます。

業種も経験してきたこともちがう各地の仲間から得る「学びや気づき」がたくさんあり、自分自身の財産になっております。

青年会議所では、機会は平等にあり結果は不平等、機会をつかむかどうかは自分次第であり、私は、色々な機会を大切にこれからも活動していきたいと思えます。以上で私からの事業紹介を終わらせていただきます。ありがとうございました。

スライド
27



これまで私たちが、行ってきた事業の一部をご紹介してきましたが、私は、この4年間でこの他にもさまざまな経験をさせて頂きました。

花巻青年会議所の中だけではなく、青年会議所には岩手ブロック協議会、東北地区協議会、日本青年会議所、という、組織もあり、出向という形で、それぞれに出させていただいております。1年目には岩手ブロック協議会に出向し、入会間もない岩手県内の青年会議所メンバーと集まり、自分たちで事業を考え、作り上げる経験をしました。会議を重ねる中でメンバーの仲も深まり色々なことを語りあえるたくさんの仲間ができました。2年目には東北地区協議会に出向し、東北各地から集まったメンバーと活動させていただきました。その中では、何百人も集まるような中での司会をさせていただくというとても貴重な経験もでき、また、ここでもかけがえない仲間ができました。

そして今年は、日本青年会議所に出向させていただいており、日本全国から集まったメンバーと、地方創生について学び、地域の未来を考え、活動しております。岩手県内から全国各地まで、実際には世界各地にまでいろいろなことを語り合える友達が青年会

議所の会員というだけで、気軽にできてしまうのもこの会の魅力かと思えます。

業種も経験してきたこともちがう各地の仲間から得る「学びや気づき」がたくさんあり、自分自身の財産になっております。

青年会議所では、機会は平等にあり結果は不平等、機会をつかむかどうかは自分次第であり、私は、色々な機会を大切にこれからも活動していきたいと思えます。

以上で私からの事業紹介を終わらせていただきます。ありがとうございました。